

安全データシート

製品名： プライムポリプロ J 7 0 7 E G

整理番号： P10406-00

作成： 2010/10/27

改訂： 2014/12/22

1. 化学物質等及び会社情報

製品名： プライムポリプロ J 7 0 7 E G

会社名： 株式会社プライムポリマー

住所： 東京都港区東新橋一丁目 5 番 2 号

担当部門： 品質保証室
(TEL: 03-6253-4630, FAX: 03-6253-4984)

推奨用途及び 射出成形

使用上の制限：

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性及び影響

人の健康に対する有害な影響：

高分子化合物で生理学的に不活性であり、人体への特別な急性作用はない。

高温の溶融樹脂から発生するガスは、眼や呼吸器を刺激する恐れがある。

環境影響：

環境においては長期間分解しないため、環境汚染の原因となるが、ポリマーの水溶解性は無視できるので、水性生物に対する毒性は弱いと思われる。

物理的及び化学的危険性：

通常の取扱い条件下では安定である。
摩擦等で粉体化されると、粉じん爆発の可能性がある。

特有の危険有害性：

床面に残ると、滑りやすい。

GHS分類

火薬類
可燃性/引火性ガス
可燃性/引火性エアゾール
支燃性/酸化性ガス類
高压ガス
引火性液体
可燃性固体
自己反応性物質
自然発火性液体
自然発火性固体
自己発熱性物質
水反応可燃性物質
酸化性液体
酸化性固体
有機過氧化物
金属腐食性物質
急性毒性(経口)
急性毒性(経皮)
急性毒性(吸入：気体)
急性毒性(吸入：蒸気)
急性毒性(吸入：粉塵・ミスト)
皮膚腐食性/刺激性
眼損傷性/刺激性
呼吸器感作性
皮膚感作性
生殖細胞変異原性
発がん性
生殖毒性
生殖毒性(授乳影響)
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)

区分
対象外
対象外
対象外
対象外
対象外
対象外
分類できない
対象外
対象外
対象外
対象外
対象外
対象外
対象外
対象外
分類できない
分類できない
分類できない
対象外
対象外
対象外
分類できない
分類できない
分類できない
分類できない
分類できない
分類できない
分類できない

安全データシート

製品名： プライムポリプロ J 7 0 7 E G

整理番号： P10406-00

作成： 2010/10/27

改訂： 2014/12/22

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)
 吸引性呼吸器有害性
 水生環境有害性(急性)
 水生環境有害性(慢性)

分類できない
 分類できない
 分類できない
 分類できない

GHSラベル要素

絵表示：非該当

注意喚起語：非該当

危険有害性情報：非該当

注意書き：非該当

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：

混合物

化学物質名：

ポリプロピレン

成分及び含有量

成分名称	含有量 wt. %	CAS#	官報公示整理番号		安衛法 通知対象	PRTR法	毒劇法
			化審法	安衛法			
エチレン・プロピレンコポリマー	>99	9010-79-1	(6)-10	-	非該当	非該当	非該当
添加剤（酸化防止剤等）	<1	非公開	既存	既存	非該当	非該当	非該当

4. 応急措置

吸入した場合：

高温の溶融樹脂から発生するガスを多量に吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移すこと。症状変化が現れた場合には、直ちに医師の手当を受けること。

被災者が呼吸していて嘔吐がある場合は、頭を横向きにする。呼吸に関する症状が出た場合には、直ちに医師の手当てを受けさせること。

呼吸が止まっている場合又は呼吸が弱い場合には、衣服を緩め、呼吸気道を確認した上で人工呼吸（又は酸素吸入）を行う。

身体を毛布などで覆い、保温して安静に保ち、直ちに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：

汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぐ。

付着した製品を拭き取り、水又はぬるま湯で洗い流しながら石鹸を使ってよく洗い落とす。

皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受ける。

溶融物が皮膚に付着した場合は、衣服の上から多量の水をかけて十分に冷却する。

皮膚に貼り付いたポリマーや衣服は無理に剥がさないで、直ちに医師の手当てを受けること。

目に入った場合：

直ちに清浄な水で15分以上洗浄する。

洗浄の際、可能ならばまぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行き渡るよう洗浄すること。

コンタクトレンズを使用している場合には、固着していない限り、取り除いて眼を洗浄すること。

異物感が眼に残る様であれば、速やかに眼科医の手当てを受けること。

飲み込んだ場合：

水で口の中を洗浄し、コップ数杯の水または牛乳を飲ませて、直ちに医師の手当てを受けること。

可能であれば、指を咽喉に差し込んで吐き出させる。

被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

安全データシート

製品名： プライムポリプロ J 7 0 7 E G

整理番号： P10406-00

作成： 2010/10/27

改訂： 2014/12/22

5. 火災時の措置

消火剤： 霧状水、粉末、二酸化炭素、泡
 使ってはならない消火剤： 棒状に噴出する水
 火災時の特有の危険有害性： 火災条件下で熱分解し、空気と混合して爆発性混合気を生じる恐れがある。
 特有の消火方法： 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移すこと。
 可能であれば、周囲の設備などに散水して、冷却すること。
 消火を行う者の保護（保護具等）： 火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止すること。
 消火作業の際は、状況に応じた保護具を必ず着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
 保護具及び緊急時措置： 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
 作業の際は保護具を着用し、接触および粉じんの吸入を避けること。
 この製品がこぼれた場所は、滑りやすいので注意すること。
 高温の溶融樹脂から発生するガスは、眼や呼吸器を刺激する恐れがある。
 環境に対する注意事項： 環境においては長期間分解しないため、環境汚染の原因となるが、ポリマーの水溶解性は無視できるので、水性生物に対する毒性は弱いと思われる。
 環境への影響を起こさないよう河川などに放出しない。
 ペレットやパウダーは海洋生物、鳥類が誤って食べることがあるので、いかなる海洋や水域にも投棄、放出してはならない。
 封じ込め及び浄化の方法、機材： 飛散したものは、掃き集めて紙袋またはドラムなどに回収すること。
 掃除機が粉じんを撒き散らす元にならないように注意。
 溶融状態で漏出したときは、水等で冷却し、固化した後に回収すること。
 二次災害の防止策： 周囲の着火源となるものを速やかに取り除く。
 火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
 技術的対策： 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器、及び火花を発生しない工具を使用すること。
 電気機器類は防爆構造の物を用い、静電気対策を行なうこと。
 取扱場所は換気を良くし、その周辺での火気、スパーク、高温物の使用は禁止する。
 吸入、皮膚への接触を防ぎ、また眼に入らないよう適切な保護具を着用すること。
 取扱場所の近くには、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱後に、手、顔等をよく洗う。
 局所排気・全体換気： 取扱う場合は、局所排気内又は全体換気の設備のある場所で取扱う。
 注意事項： 空気と混合して粉じん爆発の可能性があるため、これらの滞留を避けること。
 安全取扱い注意事項： 使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 局所排気内又は全体換気の場所で取り扱うこと。
 粉じん、高温の溶融樹脂ガスが発生しない様に取り扱う。
 溶融物との接触の防止のため適切な個人用保護具を着用する。

安全データシート

製品名： プライムポリプロ J 7 0 7 E G

整理番号： P10406-00
作成： 2010/10/27
改訂： 2014/12/22

ペレットやパウダーは、床に残ると滑りやすいので、常に清掃して取り除くこと。

保管

適切な保管条件： 直射日光を避け、火気、熱源から遠ざけて保管すること。
換気の良い冷暗所に保管し、高温、高湿を避ける。
屋内貯蔵を原則とする。

安全な容器包装材料： 製品使用容器に準じる。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策： 取扱い場所には、全体換気装置を設置すること。
できるだけ、密閉された装置・機器又は局所排気装置を使用する。
取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置すること。

許容濃度

成分名称	安衛法 管理濃度	日本産業衛生学会		ACGIH (TLV-TWA)	
		吸入性粉塵 (mg/m3)	総粉塵 (mg/m3)	呼吸性粉塵 (mg/m3)	吸入性粉塵 (mg/m3)
ポリプロピレン	未設定	2	8	3	10

保護具

呼吸器の保護具： 指定された個人用保護具を使用すること。
防塵マスク

手の保護具： 指定された個人用保護具を使用すること。
保護手袋

目の保護具： 指定された個人用保護具を使用すること。
保護眼鏡（ゴーグル）、保護面

皮膚及び身体の保護具： 指定された個人用保護具を使用すること。
安全帽、保護衣、安全靴

9. 物理的及び化学的性質

製品

物理的状態： 固体

形状： ペレット

色： 白色又は乳白色

臭い： ほとんど無臭

融点・凝固点： 150-165(°C)

引火点： データ無し

自然発火温度： >280(°C) ASTM E659

燃焼又は爆発範囲： データなし

比重： 0.89-0.92(23°C)

溶解性： 水：ほとんど不溶

分解温度： データなし

10. 安定性及び反応性

安定性： 通常の取扱いでは安定である。

危険有害反応可能性： 酸化剤と反応する。

避けるべき条件： 高温、高湿雰囲気下での保管を避ける。
火源との接触を避ける。

混触危険物質： 酸化剤との混合、接触を避ける。

危険有害な分解生成物： 一酸化炭素、二酸化炭素、炭化水素及びその酸化物。

安全データシート

製品名： プライムポリプロ J 7 0 7 E G

整理番号： P10406-00

作成： 2010/10/27

改訂： 2014/12/22

1 1. 有害性情報

製品

急性毒性（経口）：	データ無し
急性毒性（経皮）：	データ無し
急性毒性（吸入）：	データ無し
皮膚腐食性／刺激性：	データ無し
眼に対する重篤な 損傷性／刺激性：	データ無し
呼吸器感作性：	データ無し
皮膚感作性：	データ無し
生殖細胞変異原性（変異原性）：	AMES試験：データ無し，染色体異常試験：データ無し
発がん性：	IARC:3（ポリプロピレンとして）
生殖毒性：	データ無し
特定標的毒性／全身毒性－単回暴露：	データ無し
特定標的毒性／全身毒性－反復暴露：	データ無し
吸引性呼吸器有害性：	データ無し

1 2. 環境影響情報

製品

生態毒性	
急性毒性（魚毒性）：	データ無し
急性毒性（ミジンコ毒性）：	データ無し
急性毒性（藻類成長阻害）：	データ無し
慢性毒性（魚毒性）：	データ無し
慢性毒性（ミジンコ毒性）：	データ無し
慢性毒性（藻類成長阻害）：	データ無し
残留性／分解性：	環境においては長期間分解しない
生体蓄積性：	データ無し
土壌中の移動性：	データ無し

1 3. 廃棄上の注意

廃棄方法： 焼却処理を行なう場合、完全に分解させるために燃焼室の温度を800℃以上に保持する。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。
空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

1 4. 輸送上の注意

国連分類： 国連定義の危険物に該当しない。

1 5. 適用法令

消防法： 指定可燃物（（合成樹脂類）発泡させたもの：20m³、その他のもの：3000kg）
毒劇法： 非該当
安衛法： 非該当
化審法： 非該当

安全データシート

製品名： プライムポリプロ J 7 0 7 E G

整理番号： P10406-00

作成： 2010/10/27

改訂： 2014/12/22

PRTR法： 非該当

外国為替及び外国貿易管理法、輸出貿易管理令

別表16項該当品目（キャッチオール規制物質）（輸出の際に許可申請要件（客観要件、インフォーム等）に該当する場合、輸出許可が必要。）

16. その他の情報

備考

本製品は樹脂ペレットであり、練り込まれている化学物質のみが飛散することはありません。なお、本SDSの第2章に記載した有害性情報は、JIS Z7252:2009（GHSに基づく化学物質等の分類方法）の「混合物の分類基準」に従って分類した結果を記載しています。

参考文献等：

化審法の既存化学物質 安全性点検データ集（化学品検査協会）
国際化学物質安全性カード 日本語版（化学工業日報社）
環境化学物質要覧（環境庁環境化学物質研究会）
新版危険・有害性便覧（中央労働災害防止協会）
自社データ
原材料のSDS
化学品安全管理データブック（化学工業日報社、2000）
樹脂ペレット流出防止マニュアル（日本プラスチック工業連盟、1993）
IARC Monographs on the Evaluation of Carcinogenic Risks to Humans
RTECS (U. S. DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMAN SERVICE
JIS Z7252:2009 GHSに基づく化学物質等の分類方法

免責文：

記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。危険有害性の評価結果は、今後の新しい知見で改訂されることもあります。また、記載事項は当該製品についての通常の取扱いを対象にしております。特別な取扱いや他の成分との組み合わせ使用の場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上お取扱い願います。

ハンドル着色剤

安全データシート

作成日: 2016 年 9 月 12 日

改定日:

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称 : PP013-2970Z
 会社名 : 日本化成株式会社
 住 所 : 〒544-0015
 大阪市生野区巽南5丁目12番11号
 担当部門 : 生産技術本部
 電話番号 : 06-6793-6600
 FAX 番号 : 06-6793-6604
 推奨用途と使用上の制限 : 合成樹脂用着色剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 分類できない。
 健康有害性 : 分類できない。
 環境有害性 : 分類できない。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 警告
 危険有害性情報 : 軽度の皮膚刺激。・眼刺激。・呼吸器への刺激のおそれ。

注意書き

安全対策

・全ての安全注意事項を読み、理解するまで取り扱わないこと。
 ・熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。・禁煙。
 ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 応急措置 : 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。
 ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。
 ・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 ・火災の場合: 消火するために適切な消火方法をとること。
 保管 : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 廃棄 : 内容物及び包装材(紙袋、ポリ袋等)は、国、都道府県及び市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別 : 混合物
 化学名または一般名 : 合成樹脂用着色剤

化学物質	含有量	PRTR 法 対象化学 物質 *	安衛法 通知対象 物質 *	官報公示整理番号		CAS No.
				化審法	安衛法	
無機顔料・添加剤・その他	100%	—	○	あり	あり	あり

*○印: 該当

PRTR指定化学物質の含有量と安衛法通知対象物質

化学物質	化学物質管理促進法 (PRTR法)				労働安全衛生法		
	種別 *1	番号	指定化学物質名	含有%	番号 *2	表示及び通知対象物質名	含有%
カーボンブラック					130	カーボンブラック	20~30
酸化鉄					192	酸化鉄	35~45
ステアリン酸マグネシウム					327	ステアリン酸マグネシウム	10~20

*1: PRTR第1種及び第2種指定化学物質 *2: 安衛法別表第9

4. 応急措置

状況及び症状に応じて下記の応急措置を施すとともに、医師に助言を求めて、医師による手当が必要な時は病院へ搬送する。

- | | |
|--------------|---|
| 吸入した場合 | ・高温で溶融した本製品(以下、溶融物という)から発生するガスを多量に吸入したときは、新鮮な空気のある場所に移動する。呼吸し嘔吐しているときは、頭を横にする。その他の症状が出た時は、医師による手当を受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | ・溶融物から発生する多量のガスで影響を受けた部分を、水と石鹸で洗う。溶融物が皮膚に付着した場合、無理に剥がそうとしない。直ちに水で冷やし、医師による手当を受ける。 |
| 眼に入った場合 | ・直ちに清浄な水で優しく、少なくとも5分以上洗う。できるだけ早く医師による診断を受ける。
・コンタクトレンズを着用している場合は、コンタクトレンズを外し清浄な水で洗い続ける。眼球を傷つける可能性があるため眼をこすらない。 |
| 飲み込んだ場合 | ・気分が悪い時は、医師による診断を受ける。 |
| 応急措置をする者の保護 | ・救助者は保護具を着用する。「8. 暴露防止及び保護措置」を参照する。 |
| 医師に対する特別注意事項 | ・医師への助言を求め、あるいは医師による手当を受けるときは、製品の SDS、または製品の容器等(紙袋、ポリ袋、プラ容器等)に貼付されているラベルに記載された危険有害情報を医師へ提供する。 |

5. 火災時の措置

- | | |
|-------------|--|
| 消火剤 | ・散水、噴霧水、粉末消火器、二酸化炭素消火剤が有効である。 |
| 使ってはならない消火剤 | ・棒状注水(棒状水を着火部に注水すると火の粉が飛散し、危険である) |
| 特有の危険有害性 | ・燃焼ガスには、一酸化炭素・二酸化炭素等のガスが含まれる。 |
| 特有の消火方法 | ・火災にさらされた容器等(紙袋、ポリ袋、プラ容器等)を安全な場所から散水、または噴霧水で冷却する。
・可能な場合は、火災の周囲から容器等を取り除く。
・消防士と社内消火隊に危険有害性を伝える。 |
| 消火を行う者の保護 | ・状況に応じて保護具(呼吸用保護具、化学防護服、保護手袋、ゴーグル型保護眼鏡、長靴等)を着用し、該当製品の吸入や直接接触を避ける。風上から消火する。 |

6. 漏出時の措置

- | | |
|---|---|
| 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 | ・関係者以外の立ち入りを禁止する。
・漏出した粉末状の製品(以下漏出物という)が床面に散乱していると滑り易く、人が乗ると転倒の危険性が高いので、適切な保護具(8. 暴露防止及び保護措置の項を参照)着用し、清掃用具または産業用掃除機で回収する。 |
| 環境に対する注意事項
回収、中和並びに封じ込め
及び浄化の方法・機材
二次災害の防止 | ・漏出物を清掃用具または、産業用掃除機で回収し、排水溝、河川、土 壌等に入るのを防ぐ。
・清掃用具または、産業用掃除機で回収した漏出物は、「13. 廃棄上の注意」に従って廃棄する。
・付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
・漏出した場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。
・排水溝、河川等の公共の水路に流れ込んだときは、市町村の担当部署に連絡する。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

- | | |
|------------|--|
| 取扱い | |
| 技術的対策 | ・労働安全衛生法、化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)、消防法等の関連法規に準拠して作業する。
・静電気対策のために、装置、機器等の接地を確実に行う。熱、火花、裸火等の着火源を避ける。
・目に入るのを防ぐため保護眼鏡を着用する。取扱い後は手、顔等を良く洗い、うがいをする。 |
| 安全取り扱い注意事項 | ・溶融した樹脂を取り扱う時、ガスが発生するので、局所排気装置を備えた機械設備を使用する。
・これに加えて、建物(上記の現場)で全体の換気を心がける。
・紙袋等が破損して粉末状の製品が散乱しないように取扱う。
・粉塵による爆発が静電気によって起こるかもしれないので、粉塵が溜まるのを防ぐ。
・溶融物との接触を防ぐため、適切な保護具を身につける。
・散乱した粉末は滑りやすく危険なので、常に取り除くようにする。 |

保管**適切な保管条件**

- ・熱、火花、裸火等の着火源から離して保管する。
- ・直射日光を避け、換気の良い場所に常温で保管する。

安全な容器包装材料

- ・必要に応じて紙袋、ポリエチレン内装袋、アルミニウム内装袋を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置**設備対策**

- ・加熱混練、成形加工、粉碎などの作業において、揮発性ガスや粉塵の発生の恐れがあるときは、局所排気装置を使用する。取扱い近くに、手洗い及び洗眼のための設備を設置する。

管理濃度

- ・未設定

許容濃度

- ・未設定

保護具**呼吸用保護具**

- ・防塵マスク

手の保護具

- ・保護手袋

眼の保護具

- ・保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

- ・安全靴・長袖作業着、安全帽

9. 物理的及び化学的性質**外観（物理的状态）****形状**

- ・粉末状

色

- ・茶色

臭い

- ・殆ど無臭

pH

- ・データはない。

融点・凝固点

- ・データはない。

沸点、初留点と沸騰範囲

- ・データはない。

引火点・発火点

- ・データはない。

爆発範囲の下限・上限

- ・データはない

蒸気圧

- ・データはない。

蒸気密度

- ・データはない。

比重（相対密度）

- ・データはない。

溶解性（水）

- ・不溶

水・オクタノール分配係数

- ・データはない。

分解温度

- ・データはない。

10. 安定性及び反応性**反応性**

- ・通常の保管及び取扱いにおいて安定と考えられる。

化学的安定性

- ・通常の貯蔵および使用条件下では安定と考えられる。

危険有害反応可能性

- ・強酸と接触した場合、硫化水素が発生する可能性がある。

避けるべき条件

- ・火、高温、強酸を避ける。

混触危険物質

- ・強酸。

危険有害な分解生成物

- ・空気中で 400℃以上に熱された場合、二酸化硫黄の形成の可能性がある。

11. 有害性情報**危険有害性情報**

- ・データ不足のため分類できない。
- ・労働災害を防止するため絵表示、注意喚起語、危険有害性情報を GHS ラベル要素に明記。

12. 環境影響情報**環境生物へ影響を及ぼす生体毒性、残留性、分解性、生体蓄積性に関する知見はない。****注意事項**

- ・海洋生物や鳥類が摂取することを防止するために、いかなる海洋や水域へ投棄、放出をしない。

13. 廃棄上の注意**残余廃棄物**

- ・残った製品を廃棄する場合、国、都道府県及び市町村の規則に従って廃棄する。
- ・都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者、もしくはその処理を行っている地方公共団体に処理を委託し、危険性、有害性を告知する。

汚染容器及び包装

- ・空の汚染容器等(紙袋、ポリ袋、プラ容器等)の包装材を廃棄する場合、国、都道府県及び市町村の規則に従って廃棄する。
- ・都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者、もしくはその処理を行っている地方公共団体に処理を委託し、危険性、有害性を告知する。

14. 輸送上の注意**国際規制****国連番号**

- ・該当しない。

国内規制

- ・陸上輸送は消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
- ・海上輸送は船舶安全法に定められている運送方法に従う。
- ・航空輸送は航空法に定められている運送方法に従う。

特別の安全対策

- ・輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食漏れ等がないことを確認し、荷崩れの防止を確実に行う。また、重量物を上積みしない。
- ・「6. 漏出時の措置」及び「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照する。

15. 適用法令**労働安全衛生法**

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(別表第9)

政令番号 130 カーボンブラック
 192 酸化鉄
 327 ステアリン酸マグネシウム

化学物質排出把握

- ・該当しない。

管理促進法**毒物及び劇物取締法**

- ・該当しない。

消防法

- ・該当しない。

16. その他の情報**引用文献(参考文献)**

- ・GHS 対応ガイドライン 安全データシート作成指針(改訂2版)
平成 20 年 10 月 社団法人 日本化学工業協会
- ・GHS 対応による混合物(化学物質)の MSDS 作成手法の研修テキスト
(改訂版) 中央労働災害防止協会
- ・GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) JIS Z 7253:2012 日本規格協会
- ・14906 の化学商品 化学工業日報社
- ・化学物質総合情報提供システム 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

・この製品安全データシートは、製品を適切にご使用いただくために必要な注意事項を参考情報として提供するもので、通常の取扱いを対象としたものです。

・製品に他の化学物質(混合物を含む)を混合したり、特殊な条件で使用するときは、使用者の責任において安全性を評価し、取扱いの実態に応じて適切な措置をおとりください。

・記載内容は、現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : D7000F
 会社名 : 株式会社 三原産業
 住所 : 大阪府東大阪市御厨栄町2丁目15-26
 TEL : 06-6783-3501
 FAX : 06-6783-3579
 作成・改訂 : 平成22年1月16日

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
 化学名 : 有色クロメート処理剤
 成分及び含有量 :

	化学名	含有量	化審法 No.	CAS. No.
①	無水クロム酸	25～35%	1-284	1333-82-0
②	硝酸	5～15%	1-394	7697-37-2

3. 危険有害性の要約

危険有害性の分類 : 腐食性物質、急性毒性物質
 危険有害性の要約 : 強酸化剤であるので、各種有機物と接触させたり、還元剤と一緒にすると激しく反応する。
 引火性及び爆発性はない。
 眼や皮膚、粘膜等を強く刺激し、皮膚炎、結膜炎を起こす。

4. 応急措置

眼に入った場合 : 直ちに大量の流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。
 出来るだけ速くMSDSを提示し医師の診断を受ける。
 皮膚に触れた場合 : 付着物を布で素早く拭き取る。大量の水及び石鹼または皮膚用の洗剤で十分に洗い落とす。
 外観に変化や痛みがある場合、MSDSを提示して医師の診断を受ける。
 吸入した場合 : 口を水ですすいで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、
 MSDSを提示して医師の診断を受けること。
 飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合安静にし直ちにMSDSを提示し医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

消火可能消火剤 : 燃焼物に対応する消火剤。(一般火災では霧状の水等を使用。)
 消火方法 : 一般火災に準じて消火する。

6. 漏出時の措置

- 作業の際には適切な保護具(手袋・保護マスク・保護メガネ等)を着用する。
- 漏出物は密閉できる容器に回収し安全な場所に移す。
 残留分は硫酸第一鉄、重亜硫酸ソーダ等の還元剤を散布し、ソーダ灰、苛性ソーダ等で中和した後、多量の水を用いて洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川などに排出されないように注意する。付着物・廃棄物等は関係法規に基づいて処置する。
 河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
- 大量の流出には盛土等で流出を防ぐ。水による洗浄の場合河川や排水溝等へ流出させないように注意する。

鋼材中の特定化学物質含有情報シート (SSDS)

SSDS No. KK001

2008年 9月 3日作成

2017年 7月20日改訂

1. 製品及び会社情報

製品名 鋼材(線材・棒鋼)

会社情報

会社名 : 株式会社 神戸製鋼所

住所 : 〒141-8688 東京都品川区北品川5丁目9番12号

担当部門 : 線材条鋼営業部 特殊鋼室

電話番号 : 03-5739-6164

Fax. 番号 : 03-5739-6922

緊急連絡先および電話番号 : 同上

2. 製品中の管理対象物質情報

管理対象物質の鋼材中の含有情報は下記のとおりです。

本情報シートは管理対象物質の製品への含有に関する情報を提供するものです。不明成分の解明等を詳細に行い、全てを明らかにしたものではありません。

また、対象物質の含有率が0.1%以下の場合に「含有率」の欄に「なし」と表記しています。

なお、本製品の取扱事象者のご使用の段階で化学変化や物理変化などが発生し、本情報作成段階では含有成分が法規制対象でなかったものが、最終製品段階では法規制対象となる可能性があります。

管理対象物質				備考
物質名	CAS番号	含有率	単位	
1,2,3-Trichloropropane [1,2,3-トリクロロプロパン]	96-18-4	なし	wt%	
1,2-benzenedicarboxylic acid, di-C6-10-alkyl esters; 1,2-benzenedicarboxylic acid, mixed decyl and hexyl and octyl diesters with ≥ 0.3% of dihexyl phthalate (EC No. 201-559-5) [—]	68515-51-5 68648-93-1	なし	wt%	
1,2-Benzenedicarboxylic acid, di-C6-8-branched alkyl esters, C7-rich [ジアルキル(C=6~8、分枝、C7に富む)=フタレート]	71888-89-6	なし	wt%	
1,2-Benzenedicarboxylic acid, di-C7-11-branched and linear alkyl esters [ジアルキル(C=7~11、分枝及び直鎖)=フタレート]	68515-42-4	なし	wt%	
1,2-Benzenedicarboxylic acid, dihexyl ester, branched and linear [ビス[アルキル(C=6)]=フタレート]	68515-50-4	なし	wt%	
1,2-Benzenedicarboxylic acid, dipentylester, branched and linear [ジペンチル(分枝および直鎖)=フタレート]	84777-06-0	なし	wt%	
1,2-bis(2-methoxyethoxy)ethane (TEGDME; triglyme) [2,5,8,11-テトラオキサトデカン]	112-49-2	なし	wt%	
1,2-dichloroethane [1,2-ジクロロエタン]	107-06-2	なし	wt%	
1,2-Diethoxyethane [1,2-ジエトキシエタン]	629-14-1	なし	wt%	
1,2-dimethoxyethane; ethylene glycol dimethyl ether (EGDME) [1,2-ジメトキシエタン]	110-71-4	なし	wt%	

安全データシート (SDS)

【文書番号：SDS-WB-05-2】

作成；2014年11月10日

1. 製品及び会社情報

製品名 鋼材（線材・棒鋼）

会社情報

会社名 株式会社神戸製鋼所

住 所 〒141-8688 東京都品川区北品川5丁目9番12号

問合せ先 担当部門 線材・条鋼営業部

電話番号 03-5739-6167

Fax 番号 03-5739-6922

2. 危険有害性の要約

鋼材としての危険有害性情報はありません。

以下に示す危険有害性情報は、鋼材に含まれる元素成分についてのもので、溶断、溶接、切削、研磨等の加工により鋼材からヒューム、粉じん等が生じる場合に注意が必要となります。

従いまして、鋼材としての危険有害性ではないことをご承知ください。

GHS分類：

《健康に対する有害性》

有害性項目	危険有害性区分	危険有害性情報	対象成分
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 2B	眼への刺激性 (H320)	Mn, Cr
呼吸器感作性	区分 1	吸入するとアレルギー、ぜん息または呼吸困難を起こすおそれ (H334)	Ni, Cr
皮膚感作性	区分 1	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (H317)	Ni, Cr
生殖細胞変異原性	区分 2	遺伝性疾患のおそれの疑い (H341)	Cr
発がん性	区分 2	発がんのおそれの疑い (H351)	Ni
生殖毒性	区分 1B	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ (H360)	Mn
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 1	呼吸器、腎臓の障害 (H370)	Mn, Ni
	区分 2	(全身毒性) 臓器の障害のおそれ (H371)	Cr
	区分 3	(気道刺激性) 呼吸器への刺激のおそれ (H335)	Cr, Cu
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 1	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 (H372)	Mn, Ni, Cu

《環境に対する有害性》

有害性項目	危険有害性区分	危険有害性情報	対象成分
水性環境有害性（慢性）	区分 4	長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ (H413)	Mn, Ni, Cu

3. 組成、成分情報

単一物質／混合物の区分：混合物（合金鋼）

成分及び含有量

成 分	濃度 (wt%)	CAS 番号	化管法*1 政令番号	安衛法*2 政令番号
マンガン [Mn]	25 以下	7439-96-5	1 種 412	550
ニッケル [Ni]	4.0 以下	7440-02-0	1 種 308	418
クロム [Cr]	10 以下	7440-47-3	1 種 87	142
銅 [Cu]	0.5 以下	7440-50-8	—	379

注1）成分の含有量は上表の範囲において規格の種類で異なるため、個別のミルシートを参照のこと。

※1：化学物質排出把握管理促進法

※2：労働安全衛生法